

● 知的障害の娘をもつお母さん 息子は市営住宅で一人暮らしをしているが、大人しい性格で友達をつくることが不得手である。そのため自分の死後は息子の話し相手になってくれる人がいてほしい。

● 総合失調症の息子をもつお父さん 次に障害を持つ親の方々からも直面する課題や要望などが出来ました。

障害を抱える子を持つ親の悩み

● 後見人がいると安心である。 ● 諸々の手続きを行うときに説明してくれる支援者がいてほしい。 ● 「助けて」と言える場がほしい。

● 親の死後の手続きができる。 ● 親戚付き合いや近所付き合いがうまくできるか不安である。 ● 障害の程度で判断するのではなく、困っている内容に対応した柔軟な制度にしてほしい。

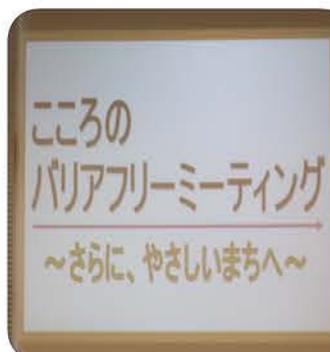
● 金銭管理、掃除、洗濯、買い物などがひとりではできない。 ● 福祉制度の利用や施設入所を希望してもその申請書類を一人では作成できない。 ● 親の死後の手続きができない。

● 親戚付き合い合いがうまくできるか不安である。 ● 「助けて」と言える場がほしい。

将来、親の援助ができなくなったり死亡したりした時の不安と今後の要望について、施設を利用されている障害者の方々からから次の意見が出されました。

● 金銭管理、掃除、洗濯、買い物などがひとりではできない。 ● 福祉制度の利用や施設入所を希望してもその申請書類を一人では作成できない。 ● 親の死後の手続きができない。

● 親戚付き合い合いがうまくできるか不安である。 ● 「助けて」と言える場がほしい。



8月30日に上越つくしの里医療福祉協会の主催で『ここでのバリアフリーミーティング』と題したミーティングが高田城址公園オーレンブラザードで開かれました。私は弁護士としてトーキセツシヨンに参加しました。

馬場ひでゆきの活動日誌

No.4

感想ですが、法律が整備されてきたにもかかわらず、障害者の方々をとりまく環境は厳しいと思いました。障害年金は、障害基礎年金1級で月額約8万1千円、同2級で月額約6万4千円です。年金のみで生活をするのは困難です。障害者の就労継続を支援する事業所は、法律によつて二つのタイプに分けられています。



障害者の賃金の低さに驚く

古くて新しい問題だと言われています。障害者の方々が少しでも安心して暮らせる社会にするために関係者の方々と意見交換を重ねていきます。

「『親亡きあと』の問題は、工賃としての支払いのため、最低賃金の保障がありません。平均月収は1万5千円程度、障害年金と合わせても自立した生活をすることは困難です。

もう一つは、B型事業所で、労働時間の拘束がなく、障害者には働きやすいタイプになっています。

ただし、報酬が賃金ではなく工賃としての支払いのため、最低賃金の保障がありません。平均月収は1万5千円程度、障害年金と合わせても自立した生活をすることは困難です。

就労継続支援 A型事業所	就労継続支援 B型事業所
雇用契約あり	雇用契約なし
年齢制限あり	年齢制限なし
(新潟県令和3年度) 平均月収 76,636円	(新潟県令和3年度) 平均月収 15,317円
最低賃金保障あり	最低賃金保障なし
週5日・1日4時間 ~8時間労働	週1日から 1日1時間程度~
事業者数が少ない	事業者数は Aより多い

第4号

馬場ひでゆきの活動日誌

2023年10月19日